

ものづくり人材育成やまがた便り

ご挨拶

山形のものづくり人材育成について想うこと

公益財団法人山形県産業技術振興機構
理事長 結城 章夫



山形のものづくりは素晴らしい

3年前に山形大学の学長を退任し、山形県産業技術振興機構の顧問に就任しました。2年前からは、この機構の理事長を務めています。この3年間、顧問及び理事長の立場で県内のものでづくり企業50社ほどを訪問いたしました。経営者の方々から様々なお話をお聞きするとともに、ものづくりの現場を見させていただきました。私を暖かく迎えていただき、丁寧に対応して下さった企業の皆様に、心から感謝を申し上げます。

私は、永く中央官庁で原子力やロケット・人工衛星の開発などの仕事に携わってまいりました。その関係で、大企業の最先端の工場をたくさん見てまいりました。それらを比較しても、山形のものづくり現場の技術や設備は、決して劣らない水準にあることを実感いたしました。意欲に燃えた経営者にも、たくさん出会えました。

私は、山形のものづくり産業は、東北のトップレベルにあり、これからまだまだ伸びていける可能性があると思っています。

ものづくりを支える人材の力

ものづくりを支えるのは、現場で働く従業員の方々の意欲と技術力です。山形のものでづくりがこのように強いのは、伝統工芸などで培われた匠の技が現在まで脈々と受け継がれていること、そして、真面目で粘り強い県民性のおかげであると思います。このような山形の人材力を何よりも大事にして、それをさらに強化していくことが必要です。

各種研修事業のご活用を

各企業様の人材力強化を支援するために、当機構は、別紙の一覧表にお示しするような各種の研修事業を用意しています。皆様におかれては、是非とも、これらの研修事業をご活用いただきたいと思います。

当機構は、山形のものでづくりの発展のために、これからも、技術と人材育成の両面から県内の企業様を全力で支援していくつもりです。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

企業訪問記

～ 山形東亜DKK株式会社 ～



佐々木代表取締役社長

このたび訪問させていただいた、山形東亜DKK株式会社（代表取締役社長 佐々木彰、従業員117名）は、新庄中核工業団地内に平成2年10月に操業開始した、①上下水道、工場用水、大気等の環境計測機器、②化学プラントなどで使用されるプロセス計測機器などの分析計メーカーである。最近話題の大気汚染「PM2.5」用計測器は国内シェア50%超を誇る。

当初ゼロからスタートし、親会社である東亜DKK株式会社の主力生産拠点として成長を遂げた。平成8年から、研究開発部門を強化。成果として、山形大学との共同研究によりUSB変換器を用いたpHメーターを開発し、商品化・ネット販売を達成した。また岩手大学と共同で動物用の特殊計測機器を開発し、特許取得・商品化を進めている。

＝ 人材育成について ＝

(1) 会社の方針、制度

大きな活動の方向性として①自立した企業としての独立採算制を追求②県・市との交流による地域振興に積極的に参画③改善活動による品質向上・コスト削減に努めることなどを挙げている。

品質管理、生産改善活動などの成果として、ISO9001を取得し、QC検定資格者は70名を超える。

(2) 社内の人材育成

特筆すべき取り組みとしては、資格取得の奨励と女性の人材育成・待遇が挙げられる。

資格取得援助制度が確立されており、マイクロソルダリング技術者（電子部品のプリント基板への表面実装関連技術）、プリント基板組み立て、電子機器組み立て等の特級資格を含む各種技能検定資格、QC検定など幅広い分野の資格取得を成し遂げている。

資格の種類が多い背景として、当社の計測機器の開発製造という業態から、扱う素材が金属、プラスチック、ガラス、化学薬品等と広範囲で、作業も設計、加工、接合、組み立て、調整、制御（組み込みソフト技術）等々、多様であること由来している。

(3) 外部での人材育成

前述の大学との共同研究、工業技術センターでのORT研修（マンツーマンによる研究手法の修得）、職業能力開発促進センターでの技能取得、中小企業大学校での研修、労働基準協会での労働安全に関する研修、当機構での技術者研修など枚挙にいとまがない。

(4) 女性の活躍

女性従業員の活躍は他の模範となるもので、基本的には職種、資格取得、待遇等において男性女性の区別はない。リーダーを目指す係長職は女性が3割を超える。また、出産後の復職率は100%で、これは企業風土としてすでに醸成されているとのことであった。

(5) 採用について

新規採用は地元の高校、高専から毎年1名程度採用しているが、高専・大卒は応募者が少なく、定期採用できていない。背景には高専・大学生の地元への就職率が低いことにあり、憂慮しておられた。

採用活動の一環として、工場見学会やインターンシップ（高校生：1週間、高専・大学生：2週間）を積極的に受入れている。

= 若手社員へのインタビュー =

入社3年目で地元新庄市出身の高橋壮典（たけのり）さんにお話を伺いました。

Q 入社のはじめは

自分は、機械の組み立て等が好きで、当社の2週間のインターンシップがきっかけで応募しました。

Q 担当業務の内容と感じていることは

工場排水や航空機用燃料タンクの油膜検知器の組み立てと調整を担当しています。

カスタム品の受注生産なので顧客の要望を満足する製品製作に携われて面白いし楽しくて満足しています。

Q これからの目標は

生産改善により効率アップを図ることと、部品加工をお願いしている関連会社に適切な指導ができるようになることです。

また、昨年第2種電気工事士は取得したので、

今年は電子機器組み立て2級の資格取得を目指したいです。

Q 最後に、大切にしている心構えは

今の立場や現状に満足することなく、前進することです。



高橋 壮典さん

最後に、会社の概要説明から生産現場の案内までいただいた、佐々木社長、水口開発設計部長、加藤業務部長そしてインタビューに対応いただいた高橋さんに感謝申し上げます。

山形東亜DKK株式会社ホームページ <http://www.y-dkk.com/>

～山形県成長分野担い手育成支援事業費補助金～

山形県では、将来的に成長が見込まれる分野に関わるものづくり産業（戦略産業分野）への新たな事業展開又は取引拡大等を支援するため、県内企業が行う人材育成の取組み（専門的な知識や技術を習得するための社外研修受講や先進企業等への派遣研修など）に要する経費の一部を助成します。

ものづくり人材の育成や戦略産業分野への新たな展開、新規雇用創出等に、当事業を活用ください。

※ 戦略産業分野とは、将来的に成長が見込まれる、バイオテクノロジー関連、有機EL関連、自動車関連、航空機関連、ロボット関連、環境・エネルギー関連、医療・福祉・健康関連、食品・農業関連に係る産業分野です。

■ 補助対象事業

補助対象者がその従業員に対し研修（OJT（職務を通じて行われる教育訓練）は除きます。）を受講させる事業

■ 補助対象経費

補助対象事業に係る従業員旅費（交通費、宿泊費）、講師謝金、講師旅費、受講料、教材費その他特に必要と認められる経費

■ 補助金の額

補助率：補助対象経費の10/10以内、補助限度額：1企業あたり100万円以内

■ 募集期間

随時募集。ただし、予算がなくなり次第終了しますので、申請前に担当までお問い合わせください。

担当：山形県商工労働部雇用対策課産業人材育成担当 佐藤 TEL：023-630-2388

補助対象事業者等の詳細は以下のホームページをご覧ください。

アドレス：<http://www.pref.yamagata.jp/ou/shokokanko/110009/seityokensyu.html>

平成29年度研修一覧

製造業技術者研修（場所：工業技術センター、高度技術研究開発センター）

研修名	概要	開催時期	時間	定員	受講料
食品の安全管理技術	食品製造時の安全管理に必要な基本技術を習得 (講義と実習: 微生物検査、アレルギー物質検査、異物鑑別)	6月8・9日	12	15	23,000
切削加工・研削加工技術	切削加工および研削加工の基礎的・実践的な技術力の習得 (講義と実習: 汎用旋盤、平面研削盤)	6月19・20・21・22日	12	15	24,000
精密測定技術	精密測定の基礎的な技術を習得 (講義と実習)	7月19・20日 7月25・26日	11	12	22,000
清酒製造技術	市場の動向や酒質の変遷等について学習する (講義と利き酒訓練)	8月～10月	36	31	23,000
食品の品質管理(庄内)	食品の安全性と信頼性向上について学ぶ (講義と実習、演習: 食品表示法、食品衛生法、微生物検査異物検査、異常原因と食品事故対応の演習)	8月	12	12	23,000
品質管理(2級)	品質管理体制の構築手法を習得 (講義と演習)	9月	24	35	24,000
繊維製品の動向と評価技術(置賜)	繊維製品の基礎と動向を学ぶ (講義と実習: 繊維の評価試験)	10月	12	8	23,000
表面分析技術	グロー放電発光分光分析装置等の実機操作から基礎を現場で役立つ知識を習得する(講義と実習)	10月	12	14	23,000
プラスチック射出成形と成形品の物性評価	プラスチック射出成形について学ぶ (講義と実習: 成形実験と耐熱性評価試験等)	11月	12	12	23,000
製品設計・製造に役立つ金属材料学	金属材料の評価法、金属組織と材料特性の関係を習得 (講義と実習: 材料試験、組織試験、熱処理)	11月	12	18	23,000
EMC・ノイズ対策技術と電気計測技術	デジタルオシロスコープの使用法やEMC・ノイズ対策技術を学ぶ(講義と実習)	11月	10	15	23,000

成長分野参入人材育成研修（場所：高度技術研究開発センター、県内協力企業様）

研修名	概要	開催時期	日数	定員	受講料
生産管理研修	納期を見据えた製造工程の管理方法の習得	6月13日 ・14日	2日	20	5,000
在庫管理研修	コスト削減に繋がる資材・購買、在庫管理の基本的な考え方、進め方の習得	7月20日 ・21日	2日	20	5,000
自動車部品機能・構造研修	自動車関連の新製品開発に向けた知識の習得	8月	1日	20	2,500
からくり生産改善研修	製品コストダウンの基本的な手法の習得	9月・10月 (2コース)	3日	20	7,500
現場リーダー資質向上研修	現場リーダー層の指導力向上を目指した研修を実施し、企業の組織力の強化を図る	11月・12月 (2コース)	2日	20	5,000

マネジメント人材育成研修（場所：高度技術研究開発センター）

研修名	概要	開催時期	日数	定員	受講料
マネジメント人材育成研修	経営者(社長)、後継者、管理職を対象に、モチベーションアップと生産性アップを併せたトータルモチベーションアップを学ぶ	9月～11月	5日	15	20,000

★各研修の募集案内を、およそ1ヶ月前に当機構ホームページに掲載する予定です。

〒990-2473 山形市松栄二丁目2番1号

(山形県高度技術研究開発センター内)

公益財団法人山形県産業技術振興機構

TEL : 023-647-3154 / FAX : 023-647-3139

URL <http://www.ypoint.jp/>

今年度の研修事業がスタートしました。企業の皆様の技術力の向上、人材育成にご活用頂ければ幸甚に存じます。